

カーテンのお手入れ方法

日頃のお手入れ

■ カーテンのお手入れ、忘れていませんか？

カーテンの汚れの原因は、空気中のほこりやタバコのヤニ、キッチンから出る煙などです。日頃から、お掃除の際生地を傷めないよう軽くふりはたくか、軽く掃除機をかけるなどしてほこりを落としてください。また、カーテンレールや窓ガラスもお手入れすることをおすすめします。カーテンレールや窓ガラスの汚れは、カーテンへ移りやすいだけでなく、ほこりやごみが水分を含むことで、カビも発生しやすくなります。また、結露もカビや汚れの原因になりますので、こまめにお手入れを行ってください。

■ どのくらいの割合で洗濯すればいいの？

ドレープカーテンは年に1回程度、レースカーテンは年に2～3回程度が目安となります。時間が経つほど汚れが落ちにくくなるだけでなく、繊維の脆化の原因となります。

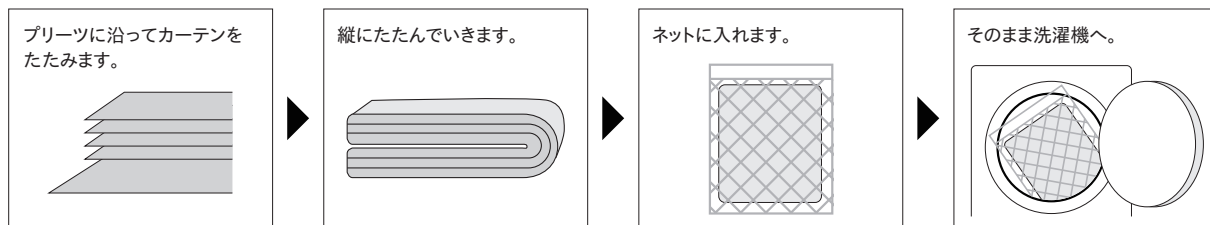
自宅での洗濯方法

■ 洗い方

1. 必ず取扱い表示をチェックし、水洗いができるものであるか確認してください。
2. 洗濯機で洗える場合、カーテンのほこりをはたき、フックを全部外します。
3. カーテンをブリーツだたみにして、ネットに入れます。一度にあまり多く詰め込むことは避け1～2枚までとしてください。
4. 洗濯機の設定を「弱水流（お持ちの洗濯機の説明書をご覧ください。）」にし、水量は「最大」にしてください。水温は「40℃以下」で行います。
5. 洗剤は、デリケートな衣類用の中性洗剤または、弱アルカリ性洗剤をご使用ください。
6. 脱水は短時間で行い、乾燥機の使用は縮みの原因となりますので、避けてください。

【ポイント】

ブリーツだたみにすることで、ピンときれいなブリーツを保ちます。



※手洗いやつけ置き洗いをする場合

30℃以下のぬるま湯で押し洗いをしてください。もみ洗いをするとシワがつきやすくなるのでご注意ください。その他は、洗濯機洗いと同じです。

また、汚れのひどい時には、つけ置き洗いがおすすめです。取扱い表示に書いてある液温にて30分から1時間ぐらいつけた後、洗濯機または手洗いで洗濯してください。

■ 干し方

1. 元のカーテンレールに吊り、自然乾燥させるのがおすすめです。吊る前には、必ずカーテンレールを掃除し、床には水滴でぬれないようにタオルやビニールなどを敷いたほうがよいでしょう。窓ガラスなども掃除をしておくと、カーテンに汚れがつくのを防ぐことができます。
2. レールに吊った後、全体を軽く下に引っ張り寸法を整えます。また、全面を手でたたくと乾燥後にある程度シワを防止できます。
3. 屋外で干すときは、必ず陰干しにしてください。
4. 乾燥機は使用しないでください。生地が変質したり、縮んだりする恐れがあります。

■ アイロンのかけ方

必ず、取扱い表示を確認し、その指示に従ってください。

■ クリーニングについて

クリーニングに出すときは、必ずカーテンからフックをはずしてください。丈の縮みや形態安定加工のくずれなど防止のため、乾燥時の取扱い温度には十分注意してもらってください。その他、クリーニング店にて取扱い表示を相互で確認してください。

■ 汚れがついたときは？

汚れがついてしまったときは、すぐにふき取るようにしてください。落ちにくい汚れは、衣料用中性洗剤を薄めたものを布に含ませ、下にきれいな布を当てた状態で、上からたたき落とします。または、洗剤をしみこませた布でつまむようにふき取る方法もあります。いずれも汚れが広がらないように注意してください。

※台所用洗剤や漂白剤、消毒液などは、使用しないでください。生地が変色する場合があります。